

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助金（医療提供体制推進事業費補助金）の活用

補助率：国 1/3、県 1/3

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,879	医療提供体制推進事業費補助金
合計	2,879	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- ・ 県の財政負担なし

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県内の災害拠点病院において、大規模災害時に多発する患者の受け入れ体制を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

当事業は、設備整備を行う災害拠点病院に対し国交付金による補助を行うものであるため、指標設定はそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	災害時における災害拠点病院の医療提供能力の確保のため、必要な設備整備を行うものであり、事業の必要性が高いと言える。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	これまでに必要な設備の整備を行った災害拠点病院と同様、整備が必要な災害拠点病院においても整備を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	災害時に医療救護の中心となる災害拠点病院に対してのみ必要な設備の整備を行うものであり、効率化は図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 必要な設備の整備後は、災害拠点病院としての能力の維持向上のため必要な訓練等を行っていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 訓練等の実施により、災害拠点病院としての能力の維持向上が図れるよう、県としても働きかけていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------